

2003年8月15日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8 2 3 4
 代表者名 取締役会長 奥田 務

2003年7月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	7 月 度	3 ~ 7 月 累 計
百貨店業	6.1	6.7
スーパーマーケット業	5.1	2.6
卸売業	8.3	8.0
その他事業	5.6	10.9
連結合計	2.8	3.5

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	7 月 度		3 ~ 7 月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	2.3	0.7	2.6	1.3
梅田店	3.3	1.3	0.5	0.1
東京店	1.5	5.1	0.2	3.7
京都店	2.0	1.2	0.5	0.7
山科店	2.2	-	0.1	-
神戸店	3.3	1.8	1.4	0.5
新長田店	1.4	-	4.4	-
須磨店	7.0	-	5.1	-
芦屋店	3.6	-	4.5	-
札幌店	-	-	-	-
直営10店舗計	7.8	-	8.7	-
" 除く札幌店	0.2	1.0	0.5	1.2
博多大丸	0.5	-	0.2	-
下関大丸	1.5	4.4	0.1	2.9
高知大丸	5.8	12.9	2.2	6.4
今治大丸	1.7	4.9	1.5	6.2
百貨店業合計	6.1(0.3)	-	6.7(0.3)	-

(注)・博多大丸は本年3月より長崎大丸と合併したため、対前年増減率は長崎大丸分を含む。

・直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸の5店計である。

・百貨店合計売上高の()内数値は、除く札幌店の既存店対前年増減率。

2) 札幌店(単位:百万円、千人)

	7 月 度		3 ~ 7 月 累 計	
	合計	入店客数	合計	入店客数
実 績	3,208	1,709	16,707	11,080

(売上動向)

- ・7月は29億円の目標に対して3,208百万円で10.6%増(3~7月累計:対目標7.1%増)
- ・商品別では、開店以来、和・洋菓子を中心に食品が好調持続。衣料品では特選婦人服、ヤングキャラクター紳士服、ネクタイなど、身のまわり品ではアクセサリ、ハンドバッグ、婦人靴など、家庭用品では、食器、調理用品などが目標を大きく上回った。

3) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	7 月 度		3 ~ 7 月 累 計	
	合計	除く札幌店	合計	除く札幌店
紳士服・洋品	14.7	8.6	11.4	4.4
婦人服・洋品	16.1	6.9	11.0	1.5
子供服・洋品	18.9	8.9	9.3	1.5
その他の衣料品	11.2	5.7	9.6	3.7
衣料品計	15.6	7.2	10.9	2.2
身の回り品	12.8	3.0	5.6	4.8
家具	9.9	14.6	7.6	13.7
家電	5.3	5.3	13.5	13.5
その他の家庭用品	2.5	6.9	7.5	1.6
家庭用品計	5.1	9.3	1.7	3.9
食料品	2.0	7.9	8.5	1.2
食堂・喫茶	18.4	6.4	24.1	4.3
雑貨	2.9	1.7	1.4	4.4
サービス	67.8	63.6	50.1	46.1
その他	26.8	31.6	0.1	9.1
合計	7.8	0.2	8.7	0.5

3. 概況

1) 百貨店業

- ・7月の百貨店業全体の売上高は、対前年6.1%増、除く札幌店では、対前年0.3%増となった。昨年7月に台風が2回来たこと、本年7月は昨年より祝日が1日多いこと、などから今年の売上は対前年増になりやすい状況であったが、天候条件が悪く（前年より雨が多く、気温も2～3度低かった）、対前年微増にとどまった。
- ・店別では、梅田店、東京店、神戸店の3店舗が前年売上高を上回った。
- ・定価や売場特価（クリアランス）による売上が非常に好調で、催やギフトの不振をカバーした。
- ・中元ギフトは、早期割引受注が好調で6月が対前年15%増であった反動で、7月は対前年約11%の前年割れとなった。なお、中元ギフト期間累計では、前年並（0.0%）であった。
- ・商品別では、婦人・紳士服など衣料品が、好調であった。これは、クリアランス商材の充実や端境期商品の開発・拡大などの貢献が大きかった。

2) その他

- ・博多大丸は、大雨（18～19日にかけての集中豪雨）の影響もあって対前年微減となった。
- ・高知大丸は、食品売場のリニューアル（5/31）効果と高知西武閉鎖の影響で6月に続き7月も好調。
- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年5.1%であった。関西地方（27店舗）の売上は、対前年0.5%増であったが、関東地方（38店舗）が同7.7%と不振であった。
- ・卸売業の大丸興業売上高については、産業資材は好調だが、電子部品及び水産を中心に食品等が、悪く対前年8.3%となった。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR推進部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343